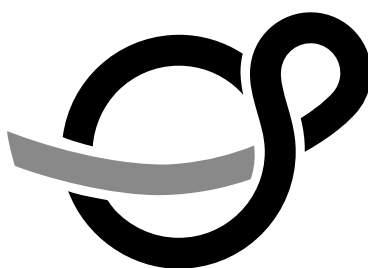


埼玉大学大学院理工学研究科  
博士前期課程

学生募集要項

【令和3年4月入学】

【令和2年秋期入学】



Saitama University  
埼玉大学

【出願期間】

令和2年6月8日(月)～12日(金)

令和2年7月13日(月)～17日(金) \* 物理学コース(筆記希望者のみ)

【Application period】

June 8 (Mon.) - June 12 (Fri.), 2020

July 13 (Mon.) - July 17 (Fri.), 2020 \* Course in Physics (Applicant writing test)

## 目 次

I. 【令和3年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項	1
-----	
II. 【令和2年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項	13
-----	
III. 【令和3年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 環境システム工学系専攻社会人入試学生募集要項	14
-----	
IV. 【令和3年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 理工学教員入試学生募集要項	18
-----	
V. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	22
-----	
VI. 入試情報の開示について	22
-----	

### 本研究科所定の用紙(綴じ込み)

入学志願票・受験票・写真票

振込依頼書

振込金受付証明書等貼付用紙

履歴書(外国人留学生用) ー外国人留学生は必ず提出

志望調査書(数学コース志願者、物理学コース志願者(口述試験希望者をのぞく)、機械科学系専攻、  
環境制御システムコース志願者のみ提出)

志望理由書(分子生物学コース・生体制御学コース・物理学コース・基礎化学コースの口述試験志願者)

受験許可書

入試情報開示請求書

(以下、個別審査申請用)

入学試験出願資格個別審査申請書(様式1) ー個別審査申請者のみ提出

経歴書(様式2) ー個別審査申請者のみ提出

入学希望理由書・別紙(様式3) ー個別審査申請者のみ提出

理工学研究科博士前期課程では、学部における専門基礎教育をもとに、専門分野のみならず基礎から応用にわたる広い関連知識の習得を目指す高度専門教育を通して、独創性のある国際的なレベルの研究者へ成長するための基礎を備えた人材又は国際的な知識基盤社会において指導的役割を果たすことができる高度専門職業人を育成することを教育研究上の目的としています。

#### [入学者選抜の基本方針]

博士前期課程において専門的な教育や研究指導を受けて、高度な実験・実習を実施していくためには、自然科学や工学の各分野における基礎学力が必要とされます。そのため、学生の受け入れに際しては、学部教育で身につけた基礎学力の判定を目的とした、筆記試験（または口述試験）を各コースで実施します。さらに、知識の応用力や勉学に対する姿勢が十分であるかを見るために個別面接試験を実施します。

#### [求める学生像]

理工学研究科博士前期課程の各コースでは、次のような学生を受け入れ、教育・研究指導を行います。博士前期課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れるため、複数の入学試験を実施します。

#### 分子生物学コース

1. 微生物および植物などを研究材料に、生命の基本的なしくみと生理現象を遺伝子レベルで解明することに興味を持ち、将来、研究者や、生命・環境・生活などの分野で専門職業人を目指す人
2. 生命科学分野の専門知識を身につけ、社会における自らの役割を認識し、誠実、勤勉に自己研鑽することによって、より高度な人格形成を目指す人

#### 生体制御学コース

1. 生物学及び関連した専門分野の基礎的な学力を有し、さらに多様な生命現象に対する幅広い専門知識と高い問題解決能力を身につけることを目指す人
2. 修得した生命科学に関する専門知識と思考力、創造力を生かし、生命科学が関わる多様な分野において、研究者あるいは技術者としての活躍を目指す人
3. 高い専門性と広い視野を身につけ、さらに語学力、コミュニケーション力を養い、国際的な活躍を目指す人

#### 物理学コース

1. 自然科学の基礎となる物理学の基本とその思考方法およびコミュニケーション能力を身につけている人
2. 自然の諸階層における物質構造や量子科学についての基本的理解と柔軟な思考力・能動的な学術的研究能力を持つ国際的にも通用する研究者となることを目指す人
3. 自然の体系的な理解に基づく研究開発能力を備えた高度な技術者となって実社会に貢献することに意欲を持つ人

#### 機能材料工学コース

1. 数学、物理、化学、生物学の基礎科目と機能材料工学分野の専門科目における十分な学力を持つ人
2. 高度な専門知識と豊かな創造力を持つ技術者・研究者として社会に貢献する意欲と適性を持つ人
3. 機能材料工学分野に興味を持ち、創造的かつ先端的研究にチャレンジしようとする意志を持つ人
4. 広い視野を持ち、国際的な活躍の場を求める人

### 基礎化学コース

1. 創造性に富む優れた研究者、教育者あるいは専門技術者をめざすとともに、社会貢献に対して情熱と意欲を持つ人
2. 化学分野の基礎知識の他に、コミュニケーション能力および基本的な語学力を有し、将来に対する明確な目標を持つ人
3. 化学における未踏の課題に対して興味を持ち、独創的かつ先端的研究を行うことに意欲を持つ人

### 応用化学コース

1. 化学・物理など自然科学の基礎科目に関する十分な学力と応用化学の専門科目に関する基礎学力を有する人
2. 化学および応用化学分野に関する、日本語および英語による基礎的なコミュニケーション能力を有する人
3. 材料の合成・高機能化・分析及びそれらに必要な技術に関連する応用化学の専門分野に興味を有し、高度な専門知識と豊かな創造力を持つ技術者・研究者として社会に貢献すべく、勉学に励む意欲に溢れる人
4. 化学および関連分野における製品開発など先端的研究に挑戦し、社会に貢献する意欲に溢れる人

### 数学コース

1. 解析学・代数学・幾何学などに関する基礎学力を身につけており、それらの最先端の研究や自然・社会現象を理解するための数理に知的好奇心を持ち、論理的思考を重視し、学習、研究、研究発表などに積極的に取り組もうとする人
2. 数理的知識や論理的思考力を生かして教育界や情報関連分野をはじめとする社会の諸分野で活躍しようとする人
3. 最先端の研究に寄与して国際的なレベルでの活躍を目指す意欲的な人

### 電気電子システム工学コース

1. 数学、物理、英語などの基礎学力および電気電子工学に関する専門基礎知識を有する人
2. 電気・電子・情報通信分野に興味を持ち、専門知識と能力を向上させ、独創的かつ先端的な研究開発を積極的に行う意欲を持つ人
3. 優れた人間性を備え、国際的に活躍し、社会へ貢献する意欲のある人

### 情報システム工学コース

1. 数学、情報分野の基礎知識とコミュニケーション能力を有する人
2. 興味を持つテーマに関する専門的な知識を有する人
3. 技術者・研究者として社会に貢献することに意欲的な人
4. 最先端の知識を吸収し、また発信することに意欲的な人

### 機械工学コース

#### メカノロボット工学コース

1. 数学、物理と機械工学分野の専門科目における十分な学力を有する人
2. 自然科学の諸問題に興味を持ち、先見性と洞察力を持って研究に取り組むことができる人
3. 豊かな創造力と熱意をもって新たな研究課題に挑戦しようとする意欲を有する人
4. 技術者・研究者として社会に貢献することを目指す人

### 環境社会基盤国際コース

1. 環境・社会基盤工学に関する最新かつ高度な専門知識に興味を持つ人
2. 社会の要求する問題に対し、自ら課題を探索し解決することに強い意欲を有する人
3. データ収集・分析を行い事象の本質を探索する姿勢を持つ人
4. 論理的な思考能力とプレゼンテーション能力を身につけたい人
5. 多様な人や組織と連携を取りながら国際的に活躍という熱意のある人

### 環境制御システムコース

1. 地球環境問題に対する課題意識を持ち、環境と人間の相互作用、自然生態系のメカニズム、センシング技術を応用した環境変化の計測技術、省資源や省エネルギーに関わる物質循環技術や環境制御技術等に深い関心を有する人
2. 当コースの学問分野を習得する上で必要な基礎科目の学力を有し、環境に関わる多用な学問領域に対する積極的かつ継続的な学習意欲と十分な理解力を有する人
3. 環境問題を地球規模の視点から捉え、それを解決する創造性と行動力、柔軟な思考力を有する人

# I. 【令和3年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項

## 1. 募集人員

専攻名	定員	コース名	学力検査	募集人員	備考
生命科学系専攻	55名	分子生物学コース	口述試験	15名	留学生を若干名募集する。
			筆記試験	12名	
		生体制御学コース	口述試験	16名	
			筆記試験	12名	
物理機能系専攻	58名	物理学コース	口述試験	10名	留学生を若干名募集する。
			筆記試験	14名	
		機能材料工学コース	口述試験	19名	
			筆記試験	15名	
化学系専攻	64名	基礎化学コース	口述試験	7名	留学生を若干名募集する。
			筆記試験	23名	
		応用化学コース	口述試験	21名	
			筆記試験	13名	
数理電子情報系専攻	107名	数学コース	口述試験	12名	留学生定員7名を含む。
			筆記試験	7名	
		電気電子システム工学コース	口述試験	26名	
			筆記試験	20名	
		情報システム工学コース	口述試験	25名	
			筆記試験	17名	
機械科学系専攻	59名	機械工学コース メカノロボット工学コース	口述試験	30名	留学生定員4名を含む。
			筆記試験	29名	
環境システム工学系専攻	62名	環境社会基盤国際コース	口述試験	23名	留学生定員12名を含む。
			筆記試験	12名	
		環境制御システムコース	口述試験	20名	
			筆記試験	7名	

(注1) **指導教員の定年退職等により受け入れない場合があるので、希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。**

## 2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和3年3月31日までに22歳に達する者

※ 出願資格(6)については、12ページ「出願資格(6)の出願資格審査について」を参照してください。

個別の出願資格審査を行うのであらかじめ申し出て、指定する書類を令和2年6月1日(月)までに(物理学コース(筆記希望者のみ)は令和2年7月6日(月)まで)提出してください。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

口述試験を希望する者(以下「口述試験希望者」という)の出願資格は、次の全て(①～④)の条件を満たす者とする。

- ① 令和3年4月入学希望者にあつては2. 出願資格(1)～(6)に該当する者  
令和2年秋期入学希望者にあつては、II. 秋期入学学生募集要項(13ページ)の1. 募集人員の学力検査欄及び注意事項による。(応用化学コースについては令和3年3月卒業見込みの者のみとする。)
- ② 学業及び人物ともに優れている者
- ③ 合格した場合、入学を確約できる者
- ④ 事前に入学後の指導予定教員と協議している者

### 3. 出願手続

(1) 出願期間(出願するコースにより出願期間が相違するので注意してください。)

- ・令和2年6月8日(月)～12日(金)まで。受付時間は、9時から16時まで。  
分子生物学コース、生体制御学コース、物理学コース(口述受験希望者のみ)、機能材料工学コース、基礎化学コース、応用化学コース、数学コース、電気電子システム工学コース、情報システム工学コース、機械工学コース、メカノロボット工学コース、環境社会基盤国際コース、環境制御システムコース
- ・令和2年7月13日(月)～17日(金)まで。受付時間は、9時から16時まで。  
物理学コース(筆記受験希望者のみ)

<b>注意</b>	物理学コースについて	6月8日～12日の間に筆記試験希望者の出願書類は受け付けることが出来ません。また、口述試験を希望し出願したが受験許可が出なかった者、また、口述試験を受験した結果、筆記を受験することになった者は7月13日～17日の期間に改めて出願する必要はありません。
-----------	------------	---

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。 ※「口述試験」又は「筆記試験」のいずれでの受験を希望するか必ず申告してください。
卒業(見込)証明書・ 成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業(見込)証明書及び成績証明書を提出してください。(ただし、本学の在籍者は厳封の必要はありません。)
検定料	30,000円 払込方法(次のいずれかの方法で払込してください。) ① 本研究科所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から振込んでください。 ② コンビニエンスストアで払い込んでください。 別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※ 出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期(出願期間前でも可能)に検定料を振込んでください。ただし、国費外国人留学生は、在籍大学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 (注)検定料の免除について 学資負担者が令和2年4月1日から出願時まで、災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。(この場合は、検定料を払わないでください。) また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
振込金受付証明書等添付用紙	本研究科所定の用紙に検定料を振り込んだ金融機関等が証明した「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付したもの。

受験許可書	現在大学院在学中の者又は官公署及び会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書(本研究科所定の用紙による)を提出してください。ただし、本人が退職して入学する場合は、その旨を明記した文書を以て受験許可書に代えることができます。この場合は、入学時に退職証明書を提出してください。
志望調査書	数学コース、物理学コース、機械科学系専攻および環境制御システムコース志願者は提出してください。ただし、物理学コース志願者のうち口述試験希望者は提出しなくて結構です。それぞれのコース・専攻所定用紙に記入してください。
志望理由書	分子生物学コース、生体制御学コース、物理学コース、基礎化学コースの口述試験希望者のみ提出してください。研究科所定の用紙に記入してください。
TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等	生体制御学コース、物理学コース、機能材料工学コース、基礎化学コース、応用化学コース、電気電子システム工学コース、情報システム工学コース、機械科学系専攻の志願者、環境社会基盤国際コースの筆記試験志願者(詳細はそれぞれ6頁、7頁、8頁、9頁を参照)は、出願時または学力検査時に提出してください。なお、一度提出したスコア票を差し替えることはできないので注意してください。 また、口述試験でスコア票の提出を要しない生体制御学コース、機能材料工学コース、基礎化学コース、情報システム工学コースおよび、機械科学系専攻の志願者については口述試験の結果により、筆記試験と面接試験が免除になった場合、提出する必要はありません。 (注) TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出の免除について <u>英語能力が十分高いことを公式の書類で証明できる(例、英語圏の大学を卒業している)場合には、TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出を免除される場合があります。必ず事前に理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。</u>
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に住所、宛名及び郵便番号を明記し、94円切手を貼付したものを。
外国人留学生は、履歴書(本研究科所定の用紙)及び住民票(在留資格及び在留期間の明記されたもの)を提出してください。 なお、住民票を提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。その場合、受験当日にパスポートを持参し係員に提示してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」(在籍大学で発行)を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。  
② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

※TOEIC・TOEFL、IELTS スコアについて

コ ー ス 名	有効とする成績	提 出 時 期 (いずれかの時期で提出してください。)		
		出願時	口述試験時	筆記試験時
生体制御学コース	3年以内	○		○
物理学コース	3年以内	○	○	○
機能材料工学コース	3年以内	○		○
基礎化学コース	3年以内	○		○
応用化学コース	3年以内	○	○	○
電気電子システム工学コース	3年以内	○	○	○
情報システム工学コース	3年以内	○		○
機械科学系専攻	3年以内	○		○
環境社会基盤国際コース	3年以内	○		○

【注意】物理学コース、応用化学コースおよび、電気電子システム工学コースの志願者のうち、口述試験希望者は口述試験にスコア票の提出が必須となりますので必ず出願時又は口述試験時に提出してください。



(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までには必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について(22 ページ参照)

5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、各コースで定める学力検査(口述試験、筆記試験)、TOEIC 又は TOEFL、IELTS、面接及び成績証明書を総合して行い、下記(4)検査科目及び日時に定める各コースが定める口述試験、若しくは筆記試験及び面接試験により実施します。

成績証明書は基礎資料として利用します。(ただし、応用化学コース、環境社会基盤国際コースは得点化します。(3) 配点についてを参照)

なお、口述試験希望者には、成績証明書及び志望理由書(分子生物学コース、生体制御学コース、物理学コース、基礎化学コース)により審査の上、「口述試験」又は「筆記試験」のいずれの試験を受験するかを大学から7月3日(金)に受験票とともに郵送します。

(2) 面接について

① 面接の形式

複数の試験委員による個人面接とします。

② 評価基準

研究に対する意欲や関心、専門分野の知識等について、総合的に評価します。

(3) 配点について

専攻名	コース名	試験種別	口述試験	筆記試験	英語(注)	面接試験	成績証明書	合計
生命科学系 専攻	分子生物学コース	口述試験	600					600
		筆記試験		500		100		600
	生体制御学コース	口述試験	500					500
		筆記試験		300	100	100		500
物理機能系 専攻	物理学コース	口述試験	500		100			600
		筆記試験		300	100	200		600
	機能材料工学コース	口述試験	600					600
		筆記試験		300	100	200		600
化学系専攻	基礎化学コース	口述試験	900					900
		筆記試験		600	200	100		900
	応用化学コース	口述試験	200		50		50	300
		筆記試験		200	50	50		300

専攻名	コース名	試験種別	口述試験	筆記試験	英語 <sup>(注)</sup>	面接試験	成績証明書	合計
数理電子情報系専攻	数学コース	口述試験	200					200
		筆記試験		100		100		200
	電気電子システム工学コース	口述試験	400		100			500
		筆記試験		300	100	100		500
	情報システム工学コース	口述試験	500					500
		筆記試験		300	100	100		500
機械科学系専攻	機械工学コース メカノロボット工学コース	口述試験	300					300
		筆記試験 (科目群A)		400	100	100		600
		筆記試験 (科目群B)		500		100		600
環境システム工学系専攻	環境社会基盤国際コース	口述試験	200*				200	400
		筆記試験		200	100	100	100	500
	環境制御システムコース	口述試験	300					300
		筆記試験		200		100		300

(注) 英語の評価は TOEIC 又は TOEFL、IELTS の成績を用いて行います。各コースで指定された試験の成績を未提出の場合は 0 点として取り扱います。

\* 英語の口頭試問を含む

#### (4) 検査科目及び日時

##### I. 口述試験 (コースにより TOEIC 又は TOEFL、IELTS の成績を含む。)

a. 実施日程 令和 2 年 7 月 11 日 (土) 9:30~

b. 試験内容

コース名	試験内容
分子生物学コース	現在行っている卒業研究の背景、目的、方法、進捗状況、考察、今後の展開等について Power Point 等を用いて発表する (8 分間)。その後、発表内容や関連する基礎知識等について口頭試問を行う。
生体制御学コース	卒業研究等について、その背景、目的、方法、結果と考察、さらに今後の方向性・展開などの内容を PowerPoint 等を用いて、10 分間程度で発表する。その後、発表内容に関連した基礎知識等について口頭試問を行う。
物理学コース	1) 専門科目 (物理学全般) について口頭試問により学力を検査する。 2) 卒業研究・志望動機等に関する質疑応答。
機能材料工学コース	卒業研究の背景・目的、進捗状況、今後の展開と期待される成果、機能材料工学に関連した学問分野に関する基礎的な内容、及び英語の基礎学力などに関して口頭試問を行う。
基礎化学コース	現在行っている卒業研究の背景、目的、進捗状況と考察、今後の展開などについて、Power Point 等を用いて発表する (10 分程度)。その後、発表内容に関連した口頭試問を行う。
応用化学コース	1) 卒業研究の内容を、研究の背景、目的、方法、結果と考察、今後の展開と期待される成果の順にまとめて、Power Point (スライド 8 枚以内) を用いて発表する (10 分程度)。発表内容に関連した口頭試問を行う。 2) 志望動機、将来の展望、研究に対する意欲や関心について質疑応答を行う。

コース名	試験内容
数学コース	1) 現在行っている卒業研究の内容、または今迄に学習して特に興味・関心を持った数学の定理、理論などについて説明および質疑応答を行う。 2) 本専攻を志望する動機および希望する研究テーマについて質疑応答を行う。 3) 単位の取得状況および数学の基礎知識について質疑応答を行う。
電気電子システム工学コース	現在行っている卒業研究(卒業研究を行っていない場合には興味を持っている研究)の内容について Power Point 等を用いて発表する(5分程度)。発表内容に関連した口頭試問を行うとともに基礎学力を検査する。その他、志望理由や将来の希望などについて問う。
情報システム工学コース	以下の内容を A4 用紙 1 枚(両面使用可)程度にまとめて提出する。提出資料をもとに発表内容に関連した口頭試問を行う。 1) 卒業研究の内容：研究の背景、目的、方法、結果と考察、今後の計画 2) 本専攻を志望する動機と希望する研究テーマ
機械工学コース メカノロボット工学コース	1) 卒業研究等の内容の説明及び質疑応答を行う。(内容の説明は資料を使わず口頭で行う。) 2) 本専攻を志望する動機、希望する研究テーマ、研究に対する意欲や関心、専門基礎知識について質疑応答を行う。
環境社会基盤国際コース	1) 卒業研究等(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持っている研究)の内容について Power Point を用いて口頭発表を行い(5分以内)、その後、発表内容に関連した口頭試問を行う。 2) 100 語程度の英語で研究テーマ名とその要旨を 2 分程度で口述させ、ディスカッションを行う。なお本年度に限り、TOEIC 等の外部英語試験のスコアシートの提出は不要とする。
環境制御システムコース	1) 志望調査書の内容について、4 ページの PDF にまとめ、Acrobat Reader を用いて 5 分以内の発表を行う。その内容について口頭試問を行う。 2) 受験者は科学一般をテーマとした英文を読む。その内容に関して、口頭試問を行う。

口述試験の TOEIC 又は TOEFL、IELTS の成績は、当該コースの「筆記試験」で定める評価方法と同様に換算する。

c. 「筆記試験」・「面接試験」受験免除者の発表

「筆記試験」・「面接試験」受験免除者を当日、本学理工学研究科の掲示板に発表する。なお、口述試験により「筆記試験」・「面接試験」受験免除者にならなかった者は次の「筆記試験」及び「面接試験」を受けてください。

II. 筆記試験及び面接試験(◎印は、外国人留学生に対する措置を示す。コースにより試験期日が異なるので注意してください。)

生命科学系専攻(分子生物学コース)

期日	8月20日(木)		8月21日(金)
時間	10:00~12:00	12:00~12:30	10:00~
試験※科目	専門科目 (500点)	面接試験のための資料作成	面接 (100点)
	分子生物学、生化学、分子・細胞生理学		

○専門科目の筆記試験に続けて、面接試験のための資料として、卒業研究や現在興味を持っている研究テーマなどについて、30分間で記述させる。

生命科学系専攻(生体制御学コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~15:00	13:00~
試験※ 科目	専門科目 (300点)	面接 (100点)
	生物学(生物学に関する論述試験)	

※「英語」の評価はTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)、IELTSの成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)またはTOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)、IELTSの成績(原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEICまたはTOEFL、IELTSの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

物理機能系専攻(物理学コース)

期日	9月3日(木)		9月4日(金)
時間	13:00~14:30	15:00~16:30	10:00~
試験※ 科目	専門科目 (150点)	専門科目 (150点)	面接 (200点)
	物理学Ⅰ	物理学Ⅱ	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価はTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)またはTOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEICまたはTOEFLの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

物理機能系専攻(機能材料工学コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~16:00	13:00~
試験※ 科目	専門基礎科目 (300点)	面接 (200点)
	下記の3科目から各4問出題、3科目から1問ずつを選択し、さらに3問を選択。 数学：微積分・微分方程式、ベクトル解析、線形代数、確率・統計 物理：力学、量子力学、熱力学・統計力学、電磁気学 化学：物理化学、無機化学、有機化学、分子生物学	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価はTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)またはTOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEICまたはTOEFLの成績は、以下のように換算して評価する。

① TOEIC(IPを含む)：TOEIC得点×100/780、ただし100点を上限とする。

② TOEFL(PBT)：TOEIC点=(TOEFL(PBT)点-296)/0.348を使いTOEIC点数に換算する。

③ TOEFL(iBT)の得点は、ETSから公表されている換算表によりTOEFL(PBT)の得点に換算し②の方法で計算する。

化学系専攻(基礎化学コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~16:00	13:00~
試験※ 科目	専門科目 (600点)	面接 (100点)
	物理化学、有機化学、無機化学(分析化学を含む)	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価は TOEIC(IP を含む)または TOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または筆記試験時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC または TOEFL の成績は、英語 200 点満点に換算して評価する。

化学系専攻(応用化学コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~15:30	13:00~
試験※ 科目	専門科目 (200点)	面接 (50点)
	物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、化学工学の5問の中から、4問を選んで解答する。	

◎解答は日本語で行う。

※「英語」の評価は TOEIC(IP を含む)または TOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC または TOEFL の成績は、英語 50 点満点に換算して評価する。

数理電子情報系専攻(数学コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~15:00	10:00~
試験※ 科目	専門科目 (100点)	面接 (100点)
	「線形代数学」と「微分積分学」に関する4問に解答する。 「代数」「幾何」「解析」に関する基礎的な問題3問の内1問を選択し解答する。	

数理電子情報系専攻(電気電子システム工学コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~15:00	13:00~
試験※ 科目	専門基礎科目 (300点)	面接 (100点)
	数学(微分積分、微分方程式、線形代数、ベクトル解析)、電磁気学、電気回路、電子回路、論理回路に関する問題を解答する。	

◎解答は日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価は TOEIC (IP を含む)、TOEFL (PBT、iBT、ITP) または IELTS の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポート)、TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)) または、IELTS の成績(成績証明書)の原本およびそのコピー1部を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC、TOEFL または IELTS の成績は、英語 100 点満点に換算して評価する。

数理電子情報系専攻(情報システム工学コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~15:00	13:00~
試験※ 科目	専門基礎科目 (300点)	面接 (100点)
	線形代数、微積分、確率・統計、数理論理学に関する問題を解答する。	

◎解答は日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価はTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)、またはIELTSの成績を用いて行う。本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポート)またはTOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report))またはIELTSの成績(成績証明書)の原本とそのコピー1部を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEIC、TOEFLまたはIELTSの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

機械科学系専攻(機械工学コース・メカノロボット工学コース)

期日	8月20日(木)			8月21日(金)
時間	13:00~14:30	15:00~15:30	15:00~16:00	13:00~
試験※ 科目	必修科目群 (300点)	科目群A (100点)	科目群B (200点)	面接 (100点)
	微分・積分(偏微分、重積分を含む)、 線形代数、常微分方程式	選択科目から1 科目を選択	選択科目から2 科目を選択	
	選択科目：材料力学(引張りと圧縮、はりの曲げ応力、はりのたわみ、ねじり)、 機械力学(質点系および剛体の動力学、1自由度系の振動)、熱力学(熱力学第0 法則、熱力学第1法則、熱力学第2法則)、流体力学(静水力学、ベルヌーイの定 理、連続の式、運動量保存則)、制御工学(ブロック線図、伝達関数、ステップ応 答、周波数応答)			

◎解答は、日本語又は英語で行う。

◎必修科目群および、科目群Aもしくは科目群Bのいずれか1つの科目群を選択する。科目群Aを選択した場合には、英語の評価を行う。

※「英語」の評価は提出されたTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)またはTOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEICまたはTOEFLの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

環境システム工学系専攻(環境社会基盤国際コース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	13:00~16:00	13:00~
試験※ 科目	専門基礎科目 (200点)	面接 (100点)
	数学：微分積分学・微分方程式、線形代数、確率統計 物理：質点・剛体の力学、弾性体の力学、振動論、熱力学	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価はTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)またはTOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEICまたはTOEFLの成績は、英語100点満点に以下のように換算して評価する。

- ① TOEIC(IPを含む) : TOEIC得点×100/780、ただし100点を上限とする。
- ② TOEFL(PBT) : TOEIC点 = (TOEFL(PBT)点 - 296) / 0.348 を使いTOEIC点数に換算する。
- ③ TOEFL(iBT)の得点は、ETSから公表されている換算表によりTOEFL(PBT)の得点に換算し、②の方法で計算する。

環境システム工学系専攻(環境制御システムコース)

期日	8月20日(木)	8月21日(金)
時間	10:00~12:00	10:00~
試験科目	専門基礎科目 (200点)	面接 (100点)
	小論文(地球環境問題に関わる、物質循環、自然生態系、環境変化などに関する基礎的な内容を問う論述。一般的な科学英語による出題を含む。)	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

(5) 試験場

本学理学部・工学部(さいたま市桜区下大久保 255)  
 京浜東北線 北浦和駅西口下車 埼玉大学行バス約 15 分  
 埼京線 南与野駅下車 埼玉大学行バス約 10 分  
 (※南与野駅埼玉大学行(経由)バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。)

(6) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、8月5日(水)までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表(口述試験の結果、「筆記試験」・「面接試験」受験免除者となった者を含む。)  
 合格者の発表は、**令和2年8月31日(月)10時**に、また、物理学コースについては、**令和2年9月14日(月)10時**に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。なお、秋期入学者及び他大学出身者で当日受領しなかった者には郵送します。内部進学者は理工学研究科支援室理工研係で受領してください。

○ 入学確約書の提出

令和3年4月入学合格者は「入学確約書」(用紙は合格通知書と併せてお渡しします。)を10月9日(金)までに、理工学研究科支援室理工研係に持参又は郵送してください。

7. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の午後4時に試験実施の可否などについて、埼玉大学ホームページ、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

[http://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/jp/exm\\_001.html](http://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/jp/exm_001.html)



8. 入学手続

(1) 入学手続日

令和3年4月入学の場合: 令和3年3月14日(日)及び3月15日(月)9時から17時まで。  
 ただし、外国人留学生は、令和3年3月26日(金)及び3月27日(土)9時から17時まで。  
 令和2年秋期入学の場合: 令和2年9月17日(木)及び9月18日(金)9時から17時まで。

(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科(博士前期課程)受験票  
 その他本学の指定する書類等(合格者に通知します)

(3) 納付金 入学金・授業料

令和3年度入学者については、現在未定です。

(参考) 令和2年度入学者は、入学金は282,000円。授業料は(半期分)267,900円、(年額)535,800円。

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。なお、郵

送による入学手続も可能です。詳細については合格者にお知らせします。

- ※1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
- ※2 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和3年4月中（令和2年秋期入学にあつては令和2年10月中）に納付することになります。入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和3年3月31日（水）（令和2年秋期入学にあつては令和2年9月30日（水））17時までに返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。
- ※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要となります。
- ※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。  
**（免除又は徴収猶予を申請したあとに入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要がありますのでご注意ください。）**
- ※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

## 9. 注意事項

- (1) 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。
- (2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。ただし、TOEIC・TOEFL、IELTSの原本を提出した受験生については、原本は面接終了後に返却いたします。  
また、次の場合は検定料の返還請求ができます。
  - ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。
  - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。
  - ③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し押印の上、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。）

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当  
（返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。）

（※）返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/henkanseikyu.pdf>

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

## 10. 奨学金について

日本学生支援機構奨学金の予約採用については合格者に通知する予定です。

## 11. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。



12. 出願資格(6)の出願資格審査について

出願資格(6)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和2年6月1日(月)(物理学コース(筆記希望者のみ)は7月6日(月))までに(2. 出願資格欄参照)本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書……………(指定様式1)
- ② 経歴書……………(指定様式2)
- ③ 入学希望理由書……………(指定様式3)
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書(入学年月日及び在籍期間が記載されたもの)
- ⑥ その他本研究科で必要と認めたもの

出願資格(6)に該当する者

- ①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。
- ②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、令和3年3月31日(令和2年秋期入学にあつては令和2年9月30日)までに22歳に達したものであること。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

## II. 【令和2年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項

令和2年秋期入学試験は、令和3年4月入学を前提として作成された「【令和3年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項」(ただし、1. 「募集人員」、2. 「出願資格」は以下のとおり。)に基づいて実施します。

令和2年秋期入学試験の「1. 募集人員」及び「2. 出願資格」は、次のとおりです。それ以外の入学者選抜の詳細については、I. 【令和3年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項の各頁を参照してください。

### 1. 募集人員

専攻名	コース名	学力検査 (下記注意事項確認)	募集人員	備考
生命科学系専攻	分子生物学コース	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
	生体制御学コース	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
物理機能系専攻	物理学コース	口述試験(※1)	若干名	
		筆記試験	若干名	
	機能材料工学コース	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
化学系専攻	基礎化学コース	口述試験(※1)	若干名	
		筆記試験(※2)	若干名	
	応用化学コース	口述試験(※1)	若干名	
		筆記試験(※2)	若干名	
数理電子情報系専攻	数学コース	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
	電気電子システム工学コース	筆記試験	若干名	
		情報システム工学コース	口述試験(※1)	若干名
筆記試験(※2)	若干名			
機械科学系専攻	機械工学コース	口述試験	若干名	
	メカノロボット工学コース	筆記試験	若干名	
環境システム工学系専攻	環境社会基盤国際コース	口述試験(※1)	若干名	
		筆記試験(※2)	若干名	
	環境制御システムコース	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	

注意事項 ※1 下記、2. 出願資格 (1)日本の大学を令和2年9月までに早期卒業見込みの者

※2 下記、2. 出願資格 (1)以外の者

※1及び※2の記載のない口述試験あるいは筆記試験は、出願資格の指定はありません。

(注1) 指導教員の定年退職等により受け入れない場合があるので、希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。

### 2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を令和2年9月までに早期卒業見込みの者
- (2) 日本の大学を卒業した者及び令和2年9月までに卒業見込みの者
- (3) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和2年9月までに授与される見込みの者
- (4) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年9月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年9月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和2年9月30日までに22歳に達する者

※出願資格(7)については、12ページ「出願資格(6)の出願資格審査について」を参照してください。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

### Ⅲ. 【令和3年4月入学】 埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 環境システム工学系専攻社会人入試学生募集要項

近代工業社会の展開に伴って物質的な豊かさと利便性を追求してきた人間の活動は、自然の許容力の範囲内で生きる伝統的社会の規範を越え、予想を上回る広範囲の環境破壊をもたらすという深刻な問題を惹き起こしている。また、その一方では生活様式や社会様式の変化により、人間生活環境にも改善すべき多くの課題が出現している。このような社会情勢のもと、実社会の多様な部門において高度な研究能力に併せ、研究の急速な進展にも対処することができる十分な基礎学力と広域的視野を具えた指導的な役割を果たし得る人材が求められるようになった。本研究科博士前期課程はこのような社会的要請に応え、各種の研究機関、企業等において活躍中の現職の社会人を大学院に受け入れる道を開くと共に、教育・研究面における大学と社会との交流を一層深めようとするものである。

以上の趣旨に基づき、専門的な研究能力を有する社会人に対し、以下の入試選抜による学生募集を実施します。

#### 1. 募集人員

専攻名	コース名	募集人員
環境システム工学系専攻	環境制御システムコース	若干名

注) 指導教員の定年退職等により受け入れない場合があるので、希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。

#### 2. 出願資格

現に所属する企業等に1年以上正規職員として勤務し、入学後もその身分を有する者で、所属長から受験許可を受けた社会人技術者、研究者で次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、満22歳に達した者（【注】参照）

【注】出願資格(6)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和2年6月1日(月)までに本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書……………(指定様式1)
- ② 経歴書……………(指定様式2)
- ③ 入学希望理由書……………(指定様式3)
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書(入学年月日及び在籍期間が記載されたもの)
- ⑥ その他本学研究科で必要と認めたもの

※ 出願資格(6)に該当する者とは、①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、22歳に達したものであること。

※ 「社会人入試」とは、企業等に勤務している者を、所属長からの受験許可に基づいて選抜する制度のことであり、受験許可を行う企業等は、在職のままの修学について応諾することを前提としている。入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

### 3. 出願手続

(1) 出願期間

令和2年6月8日(月)から6月12日(金)まで。

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のを指定欄に貼付してください。
卒業証明書・ 成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業証明書及び成績証明書を提出してください。
検定料	30,000円 払込方法(次のいずれかの方法で払込してください。) ① 本研究科所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から振込んでください。 ② コンビニエンスストアで払い込んでください。 別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※ 出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期(出願期間前でも可能)に検定料を振込んでください。 (注)検定料の免除について 学資負担者が令和2年4月1日から出願時まで、災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。(この場合は、検定料を払わないでください。) また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
振込金受付証明書等貼付用紙	本研究科所定の用紙に検定料を振り込んだ金融機関等が証明した「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付したもの。
受験許可書	本研究科所定の用紙に所属長が記入したもの。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に住所、宛名及び郵便番号を明記し、94円切手を貼付したもの。

(注) 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を一括し、所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

### 4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について (22 ページ参照)

### 5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、学力検査(口述試験)、出身大学の卒業証明書、成績証明書及び受験許可書を総合して行います。

(2) 口述試験の配点は100点とします。

### (3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和2年8月21日(金) 時間等詳細については後日 連絡	以下の1)および2)の内容を併せて、受験者は、A4用紙1枚を配布資料として準備し、その内容を4ページのPDFにまとめ、Acrobat Readerを用いて発表を行う。その内容について口頭試問を行います。 1) これまでの研究業績又は業務内容 2) 入学後の研究計画について

### (4) 試験場

本学工学部（さいたま市桜区下大久保 255）

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約 15 分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約 10 分

（※南与野駅埼玉大学行（経由）バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。）

- (5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、8月5日（水）までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

## 6. 合格者の発表

合格者の発表は、令和2年8月31日（月）10時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。

なお、当日受領しなかった者には、郵送します。

### ○入学確約書の提出

合格者は、「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せてお渡しします）を10月9日（金）までに理工学研究科支援室理工研係に持参又は郵送してください。

## 7. 入学手続

- (1) 入学手続日 令和3年3月14日（日）及び3月15日（月）9時から17時まで。  
(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）受験票その他本学の指定する書類等（合格者に通知します）  
(3) 納付金 入学料・授業料  
令和3年度入学者については、現在未定です。  
(参考) 令和2年度入学者は、入学料は282,000円。授業料は（半期分）267,900円、（年額）535,800円。

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。なお、郵送による入学手続についても可能です。詳細については合格者にお知らせします。

- ※1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。  
※2 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和3年4月中に納付することになります。入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和3年3月31日（水）17時までに返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。  
※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要となります。  
※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。  
※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。  
（免除又は徴収猶予を申請したあとに入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要がありますのでご注意ください。）  
※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

## 8. 注意事項

- (1) 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。
- (2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。  
また、次の場合は検定料の返還請求ができます。
  - ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。
  - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。
  - ③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し押印の上、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。）

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当  
（返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。）

（※）返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/henkanseikyu.pdf>

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

## 9. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

IV. 【令和3年4月入学】 埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程  
理工学教員入試学生募集要項

中学校、高等学校、高等専門学校などの理工系教員には、通常の教科科目の授業のほかにも多くのことが要請される。最新の科学・技術情報を取り入れた教材・授業案・実験実習プログラムの作成、科学クラブなどでの課外活動の適切な指導、最新の情報に基づいた適切な進路指導、などである。また、大学を卒業して教職に就いた教員が上級の職に就くためには、大学院修士課程程度の授業を履修し専修免許を取得しなければならない。このような、リカレント教育および知識と技術の向上の教育を受け、修士の学位を取得し、専修免許を得たいとの要望は多い。本入試選抜は、このような教員の受け入れのために実施するものであります。

1. 募集人員

専攻名	コース名	募集人員	申請可能な専修免許状
物理機能系専攻	物理学コース	1名	中学・高校 理科
	機能材料工学コース		中学・高校 理科
化学系専攻	基礎化学コース	1名	中学・高校 理科
	応用化学コース		中学・高校 理科
数理電子情報系専攻	数学コース	1名	中学・高校 数学

令和3年度入学者の申請可能専修免許状は、申請可能な専修免許状欄記載の免許教科・種別のとおりです。

注) 指導教員の定年退職等により受け入れない場合があるので、希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。

2. 出願資格

現在就業している中学校、高等学校、高等専門学校の理工系教員（「国公立の教諭で、所属長から認められた者」又は「現職のまま時間外や休暇・休日に履修して学位を取ることを希望する者」）で次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者（【注】参照）

【注】出願資格(6)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和2年7月6日(月)までに本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書……………(指定様式1)
- ② 経歴書……………(指定様式2)
- ③ 入学希望理由書……………(指定様式3)
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書(入学年月日及び在籍期間が記載されたもの)
- ⑥ その他本研究科で必要と認められたもの

※ 出願資格(6)に該当する者とは、①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であること。②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、22歳に達したものであること。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会して

ください。

### 3. 出願手続

(1) 出願期間

令和2年7月13日（月）から7月17日（金）まで。  
受付時間は、9時から16時まで。

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。
卒業証明書 ・成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業証明書及び成績証明書を提出してください。
検定料	30,000円 ① 本研究科所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から振込んでください。 ② コンビニエンスストアで払い込んでください。 別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※ 出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期(出願期間前でも可能)に検定料を振込んでください。 (注)検定料の免除について 学資負担者が令和2年4月1日から出願時まで、災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。(この場合は、検定料を払わないでください。) また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
振込金受付証明書等貼付用紙	本研究科所定の用紙に検定料を振り込んだ金融機関等が証明した「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付したもの。
受験許可書	在職している学校の所属長の受験許可書(本研究科所定の用紙による)を提出してください。
志望調査書	数学コース及び物理学コース志願者のみ提出してください。本研究科所定の用紙に記入してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に住所、宛名及び郵便番号を明記し、94円切手を貼付したもの。

(注) 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を一括し、所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。  
なお、提出書類を郵送する場合は、書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

### 4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について (22 ページ参照)

### 5. 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜は、学力検査(口述試験)及び出願書類の審査を総合して行います。
- (2) 口述試験の配点は、100点とします。



### (3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和2年8月21日(金) 時間等詳細については後日連絡	専門科目全般について

※ 口述試験はコースごとに行う。

※ 口述試験の資料となる小論文等を書かせることがあります。

### (4) 試験場

本学理学部・工学部（さいたま市桜区下大久保 255）

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約 15 分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約 10 分

（※南与野駅埼玉大学行（経由）バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。）

(5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、8月5日（水）までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

## 6. 合格者の発表

合格者の発表は、令和2年8月31日（月）10時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。なお、当日受領しなかった者には、郵送します。

### ○入学確約書の提出

合格者は、「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せてお渡しします。）を10月9日（金）までに、理工学研究科支援室理工研係に持参又は郵送してください。

## 7. 入学手続

(1) 入学手続日 令和3年3月14日（日）及び3月15日（月）9時から17時まで。

(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）受験票  
その他本学の指定する書類等（合格者に通知します）

(3) 納付金 入学料・授業料  
令和3年度入学者については、現在未定です。

（参考）令和2年度入学者は、入学料は282,000円。授業料は（半期分）267,900円、（年額）535,800円。

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。

なお、郵送による入学手続も可能です。詳細については合格者に知らせます。

※1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。

※2 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和3年4月中に納付することになります。

入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和2年3月31日（火）17時までに返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。

※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要となります。

※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者に知らせます。

（免除又は徴収猶予を申請したあとに入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要がありますのでご注意ください。）

※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

## 8. 注意事項

(1) 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。

(2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。

また、次の場合は検定料の返還請求ができます。

① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。

③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し押印の上、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

(封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。)

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

(返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。)

(※) 返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/henkanseikyu.pdf>

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

## 9. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限(2年)で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間(最長4年)内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

## V. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

連絡先：〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

TEL 048-858-3430（平日 9 時～17 時）相談書提出期限：令和 2 年 6 月 1 日（月）

### (1) 申請方法

申請する場合は所定の書式（※）に診断書（発行後 6 カ月以内の原本）及び身体障害者手帳を所有の者はその写しを添えて提出することとし、必要な場合は、本研究科において当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁しうる者との面談をすることがあります。

（※）申請書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

[http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam\\_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf](http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf)

(2) この申請で、受験許可を得た場合は、出願書類を提出の際、その旨を上記連絡先に連絡してください。

(3) この申請で受験許可を得て、出願を辞退若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の連絡先に電話連絡をするとともに、ハガキ又は手紙で通知してください。

## VI. 入試情報の開示について

埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程では、入試情報について、次のとおり開示・提供します。

### ○ 請求に基づき開示する情報

入試成績の合計点

### ○ 開示請求方法

・対象者 本入試を受験し、**不合格となった者**に限ります。

・請求方法 郵送の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 入試情報開示請求書」（募集要項に添付）、返信用封筒（本人の住所、氏名を明記し、簡易書留郵便 404 円の切手を貼った長形 3 号封筒）及び受験票を同封してください。

窓口の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書」（募集要項に添付）を提出してください。その際、受験票を提示してください。

・請求期間 令和 2 年 10 月 1 日（木）～10 月 2 日（金）

・請求先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

（注）郵送の場合は「大学院入試情報開示請求」と朱書きしてください。

・開示方法 請求期間終了後に郵送又は窓口で交付します。なお、交付日は請求時に連絡します。窓口で交付を受ける際は、受験票を提示してください。

## 埼玉大学大学院理工学研究科

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

TEL 048(858)3430

【令和3年4月入学】【令和2年秋期入学】  
 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入学志願票

1. 令和3年4月入学      2. 令和2年秋期入学（出願する方に○を付ける）						受験番号
ふりがな					性別	
氏名					男・女	
Name (English)					国籍	
Family name			First name		Middle name	
生年月日			年 月 日生			(外国籍の方は記入してください。)
志望専攻・コース名			希望指導教員名 <small>(機能材料工学、電気電子システム工学は第5希望まで、分子生物学、応用化学、環境制御システムは第3希望まで、その他のコースは第2希望まで記入してください。数学、物理学、機械科学系専攻は記入不要です。)</small>			
専攻			1			
			2			
コース			3		4	
			5			
現住所		〒 — (電話番号) — — (携帯番号) — — (email)				
合格通知 受信場所		〒 — (電話番号) — — (携帯番号) — —				
出願資格	出身 大学名	_____大学_____学部_____学科 _____年 月 卒業・卒業見込 (どちらかに○を付けてください) (本学出身者は学籍番号を記入してください。_____)				
	その他					
出願者の希望する学力検査 <small>(口述試験希望者は入学後の指導予定教員と事前協議要)</small>				口述試験 ・ 筆記試験		
物理機能系及び基礎化学コース及び環境システム工学系専攻志望留学生の出題希望 <small>(○印が無い場合は日本語での出題となります。)</small>				英語 ・ 日本語 <small>(どちらかに○を付けてください。)</small>		
TOEIC・TOEFL、IELTS スコア票提出時期 (分子生物学コース、生体制御学コース、物理学コース、機能材料工学コース、基礎化学コース、応用化学コース、電気電子システム工学コース、情報システム工学コース、機械科学系専攻、環境社会基盤国際コース出願者)				出願時提出 ・ 学力検査時提出 <small>(どちらかに○を付けてください。)</small> ※ 一度提出したスコア票の差し替えはできません。		
機械科学系専攻志願者の出願希望 <small>(口述試験、筆記試験の選択によらず○をつけてください。)</small>				科目群A ・ 科目群B <small>(どちらかに○を付けてください。)</small>		
履 歴	学 歴	年 月		高等学校卒業		
		年 月		入学		
		年 月		卒業 (見込)		
	年 月					
書	職 歴		年 月			
	取得 (予定) 教員免許状		年 月			

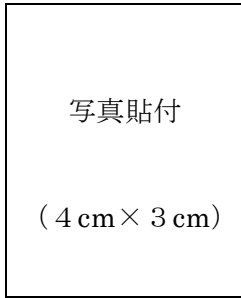
【注意】合格通知受信場所に変更が生じた場合は速やかに連絡してください。

【令和3年4月入学】・【令和2年秋期入学】

埼玉大学大学院  
理工学研究科（博士前期課程）

### 受 験 票

受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
志望コース名	
出題者の希望する学力検査	口述試験・筆記試験
物理機能系・基礎化学コース 環境システム工学系専攻志望 留学生の出題希望 (○印が無い場合は日本語での出題となります。)	英語・日本語
機械科学系専攻志願者の 出題希望	科目群A・科目群B
令和3年4月入学・令和2年秋期入学	



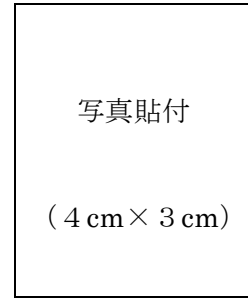
○

【令和3年4月入学】・【令和2年秋期入学】

埼玉大学大学院  
理工学研究科（博士前期課程）

### 写 真 票

受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
志望コース名	
出題者の希望する学力検査	口述試験・筆記試験
物理機能系・基礎化学コース 環境システム工学系専攻志望 留学生の出題希望 (○印が無い場合は日本語での出題となります。)	英語・日本語
機械科学系専攻志願者の 出題希望	科目群A・科目群B
令和3年4月入学・令和2年秋期入学	



#### ◎ 注意

1. 受験の際は必ず持参してください。
2. 入学時まで保存してください。

切り取らないでください。

#### 志願票等の記入上の注意

1. 本票は点線以外で折らないでください。
2. 令和3年4月入学に出願するか令和2年秋期入学に出願するか明確にしたうえ、それぞれの該当事項を○でかこみ、※印欄は記入しないでください。
3. 黒または青インキを用いペン（ボールペン可）ではっきりと記入してください。
4. 字体は楷書又はローマ字活字体、数字は算用数字を用いてください。
5. 希望指導教員名について機能材料工学、電気電子システム工学コースは第5希望まで、分子生物学、応用化学及び環境制御システムコースは第3希望まで、その他のコースは第2希望までを希望指導教員名の欄に記入してください。数学コース・物理学コース・機械科学系専攻は記入不要です。機械科学系専攻を志望する者は、機械工学コースとメカノロボット工学コースの両コース所属の指導教員を希望することができます。なお、入学後に所属するコースは指導教員の所属するコースになります。
6. 志願者は、必ず希望する学力検査（「口述試験」又は「筆記試験」）を選択し、どちらか一方を○で囲んでください。
7. 物理機能系及び基礎化学コース及び環境システム工学系専攻志願の留学生は、英語・日本語の何れかでの出題を希望するか、どちらか一方を○で囲んでください。○印が無い場合は日本語での出題となります。
8. 分子生物学コース、生体制御学コース、物理学コース、機能材料工学コース、基礎化学コース、応用化学コース、電気電子システム工学コース、情報システム工学コース、機械科学系専攻、環境社会基盤国際コース出願者は、TOEICまたは TOEFL、IELTS スコア票提出時期の一方を○で囲んでください。なお、一度提出したスコア票を差し替えることはできません。
9. 機械科学系専攻志願者は口述試験、筆記試験の選択によらず、科目群A・科目群Bのどちらか一方を○で囲んでください。筆記試験受験者および口述試験を希望し出願したが筆記試験を受験することになった者に適用されます。○印が無い場合は科目群Aとなります。
10. 合格通知受信場所は、連絡、照会及び合格通知を受け取ることを記入し、郵便番号は必ず記入してください。
11. 学歴欄は、卒業見込みの場合も必ず記入してください。
12. 教員免許状取得見込みの場合も必ず記入してください。
13. 写真は、受験票・写真票とも同じものを貼付してください。
14. 入学願書提出後は、記載事項の変更を認めません。（合格通知受信場所を除く。）
15. 事実と相違していることを記載したときは、入学後も入学を取消すことがあります。

# コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

## お申込みの前に

お申込みの際に、振込依頼書に印字されている番号(8桁)の入力が必要です。振込依頼書をお持ちでない場合は、生年月日(西暦)を8桁の数字にして入力してください。

番号メモ  
(8桁)

下記のコンビニ端末にてお支払いください

## 1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON  
Loppi

MINISTOP  
Loppi

<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、  
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

## 2 お支払い

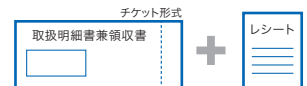
### ①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



### ②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税別)	入学検定料が5万円未満	400円
---------------	-------------	------

## 3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



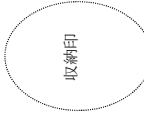
貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

\*申込み時に入力した**8桁の番号**が収納証明書に印字されていることを確認してください。

【入試・出願に関するお問い合わせ先】 募集要項に記載の連絡先へお問い合わせください。  
【検定料の払込に関するお問い合わせ先】 埼玉大学 経理課出納担当 TEL048-858-3942 (受付時間) 平日9:00~17:00  
【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/e/guide/> ※コンビニ店頭ではお答えできません。

振込金受付証明書

令和	年	月	日
金額	3	0	0
受取人	三井住友銀行 大宮支店	普通	7569751
ご依頼人	埼玉大学	<small>＜データ入力時は、下部番号を必ず打電してください＞</small> 番号 (フリガナ) お名前	
選抜	理工学研究科 (博士前期課程)	様	



上記のとおり振込みしました。  
(取扱店) \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 店

【出願書類添付用】(取扱店→依頼人)

振込金  
(兼手数料)

受取書

令和	年	月	日
金額	3	0	0
受取人	三井住友銀行 大宮支店	普通	7569751
ご依頼人	埼玉大学	<small>＜データ入力時は、下部番号を必ず打電してください＞</small> 番号 (フリガナ) お名前	
備考	様		

上記の金額正に受取りました。  
(取扱店) \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 店

【志願者保管】(取扱店→依頼人)

振込依頼書

太枠内は必ずご記入下さい

ご依頼日	令和	年	月	日
振込先	三井住友銀行	大宮支店	普通	7569751
受取人	埼玉大学	<small>＜データ入力時は、下部番号を必ず打電してください＞</small> 番号 (フリガナ) お名前		
ご依頼人	理工学研究科 (博士前期課程)	様		
科目	手数料 金額 3 0 0 0 円 内訳 収納印または振替印			



- 右記の太枠の中だけポルペンで記入ください。
- A T M (現金自動受取機) は使用しないでください。
- 振込手数料はご依頼人負担となります。

\*取引銀行へのお問い合わせ先

ご依頼人名の前に番号を必ず打電してください。

(取扱店保管)

# 振込金受付証明書等貼付用紙

 <b>金融機関</b> 振込金受付証明書貼付欄
<ul style="list-style-type: none"><li>金融機関から振り込んだ場合は、振込金受付証明書を、太線の中にはがれないようにしっかりと貼り付けること。</li><li>振込金受付証明書に金融機関の受付印が押印されていない場合には、受理できないので注意すること。</li></ul>
<b>コンビニ</b> 収納証明書貼付欄 
<p>コンビニで支払った場合は、コンビニで受け取った取扱明細書から「<u>収納証明書</u>」部分を切り取り、点線の中にはがれないようにしっかりと貼り付けること。</p>
<p>※「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります。」と記載のある糊は使用しないこと。</p>

大学使用欄

経理確認欄	受験番号

埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）



# 履 歴 書 (外国人留学生用) Curriculum Vitae

外国人留学生は必ず提出してください。

氏名	自国語 フリガナ ローマ字	Family Name	First Name	Middle Name	性別 男(M) 女(F) Sex	生年月日 Date of birth	19 年 月 日	年齢 Age	自国の住所 Address in Your Country (TEL)	学位・資格 Diploma or Degree awarded	
	Family Name	First Name	Middle Name	入学及び卒業年月 Year and Month of Entrance and Completion		修業年数 Period of schooling	専攻科目 Major subject if any				
初等教育 Elementary Education 小学校 Elementary School	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	正規の修学年数 Officially required number of years of schooling	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	専攻科目 Major subject if any	学位・資格 Diploma or Degree awarded
	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs						
中等教育 Secondary Education 中学校及び高校 Secondary School	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	正規の修学年数 Officially required number of years of schooling	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	専攻科目 Major subject if any	学位・資格 Diploma or Degree awarded
	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs						
高等教育 Higher Education 大学 Undergraduate Level	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	正規の修学年数 Officially required number of years of schooling	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	専攻科目 Major subject if any	学位・資格 Diploma or Degree awarded
	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs						
大学院 Graduate Level	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	正規の修学年数 Officially required number of years of schooling	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs	専攻科目 Major subject if any	学位・資格 Diploma or Degree awarded
	学校名 Name	所在地 Location	入学 yrs from	卒業 to	年 yrs						
以上を通算した全学校教育修学年数 Total											
研究歴 Research Activities	研究機関名 Name of Research Institution		所在地 Address		研究期間 Duration of research		年数 yrs				
	勤務先名 Name of Organization		所在地 Address		勤務期間 Period of employment		年数 yrs				
日本語の学習歴 Japanese Language Education	教育機関名 Name of Educational Institution		所在地 Address		履修期間 Period of study		年数 yrs				
	教育機関名 Name of Educational Institution		所在地 Address		履修期間 Period of study		年数 yrs				

※日本語で記入してください。ただし、自国の住所欄は漢字又は英語で記入してください。  
 ※数字は算用数字を用いてください。※年号はすべて西暦としてください。※固有名称はすべて正式な名称とし、一切省略しないでください。

埼玉大学大学院理工学研究科(博士前期課程)

令和 年 月 日

【令和3年4月入学】【令和2年秋期入学】  
埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程] 志望調査書  
(数学コース志願者)

氏 名 \_\_\_\_\_

1. 卒業研究やその他で、これまでに学習してきた数学の内容や興味を持った定理などを説明してください。(数学書や論文などを引用する場合は著者等を明示してください。)

2. 入学後の希望研究分野(代数、幾何、解析など)及び希望指導教員名(より詳細な研究希望があれば、その内容も記入してください。指導教員については複数名や「希望なし」でも結構です)

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

【令和3年4月入学】【令和2年秋期入学】  
埼玉大学大学院理工学研究科【博士前期課程】志望調査書  
(物理学コース志願者：口述試験希望者をのぞく)

氏名 \_\_\_\_\_

入学後の希望研究分野（素粒子理論、宇宙・原子核理論、物性理論、宇宙線・宇宙物理、原子核実験、物性実験）を第3希望まで選び、各希望研究分野に対して指導を希望する教員名（複数名でもよい）を記入してください。

研究分野 教員名（希望順に書くこと）

第1希望：

第2希望：

第3希望：

なお、各研究分野の教員名は以下の通りです。

素粒子理論	谷井義彰教授、佐藤丈准教授、仁尾真紀子連携准教授
宇宙・原子核理論	望月優子連携教授、江幡修一郎助教
物性理論	品岡寛助教、星野晋太郎助教
宇宙線・宇宙物理	田代信教授、寺田幸功准教授、望月優子連携教授、 大朝由美子准教授（教育学部・併任教員）、佐藤浩介准教授 勝田哲助教
原子核実験	鈴木健教授、山口貴之准教授、上坂友洋連携教授
物性実験	佐藤一彦教授、小坂昌史准教授、谷口弘三准教授、 道村真司助教、小林拓矢助教

各教員の詳しい研究内容は、物理学コースのホームページ <http://phy.saitama-u.ac.jp/> の研究室案内を参照してください。

受験番号	※
------	---

## 【令和3年4月入学】【令和2年秋期入学】

## 埼玉大学大学院理工学研究科[博士前期課程機械科学系専攻]志望調査書

氏名 \_\_\_\_\_

入学後の希望研究室及び希望指導教員名を記入して下さい。ただし、同じ研究室を複数記入することはできません。なお、第13希望まで記入のない場合は配属において不利になることがあります。

希望順位	希望研究室	指導教員名
第1希望		
第2希望		
第3希望		
第4希望		
第5希望		
第6希望		
第7希望		
第8希望		
第9希望		
第10希望		
第11希望		
第12希望		
第13希望		

各研究室の主研究指導教員名は以下の通りです。

## 研究室名

機械工作	金子順一准教授、阿部壮志助教
材料力学	荒居善雄教授、荒木稚子准教授、山田典靖助教
流体力学	平原裕行教授、姜東赫准教授
材料工学	蔭山健介教授、坂井建宣准教授
熱工学	小原哲郎教授、前田慎市准教授
機械要素	山本 浩教授、成川輝真准教授
生産環境	池野順一教授、山田洋平助教
設計工学	琴坂信哉准教授、程島竜一准教授
機械力学	渡邊鉄也教授、成澤慶宣助教
制御工学	高崎正也教授、山口大介助教
ヒューマンインターフェース	綿貫啓一教授、楓 和憲准教授、村松慶一助教
機械システム	長嶺拓夫教授、田所千治准教授
計測工学	原 正之准教授

各指導教員の詳しい内容は、機械科学系専攻のホームページ

<http://www.mech.saitama-u.ac.jp/research.html> の研究室案内を参照して下さい。

受験番号	※
------	---



令和 年 月 日

【令和3年4月入学】 【令和2年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科[博士前期課程] 志望理由書  
(分子生物学・生体制御学・物理学・基礎化学コース口述試験志願者)

氏名 \_\_\_\_\_

分子生物学

生体制御学

下記の理由により、埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程] 物理学コース

基礎化学

に入学し、 \_\_\_\_\_ (指導教員) に指導を受けることを希望します。

理由：

注意：ワープロによる印刷又は手書きによる記入の場合でも、枠内に収まるようにすること。

指導教員予定者署名・捺印

印

受験番号

※

受験番号	※
------	---

## 受 験 許 可 書

氏 名

年 月 日生

上記の者が、【令和3年4月入学】【令和2年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科  
(博士前期課程)の入学試験を受験することを許可します。

令和 年 月 日

埼玉大学大学院理工学研究科長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書

令和 年 月 日

埼玉大学大学院理工学研究科長 殿

申請者

郵便番号 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

電話番号 \_\_\_\_\_

下記のとおり、入学試験の成績について情報開示を申請します。

記

入 学 試 験 年 度	【令和3年4月入学】【令和2年秋期入学】入学試験
受 験 番 号	
出願課程・専攻・コース	博士前期課程 専攻 コース
情報開示を申請する内容	入試成績の合計点

- (注) 1. 本人確認のため、受験票を同封してください。なお、受験票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書等（運転免許証の写し、パスポートの顔写真及び住所の記載された箇所等の写し等）を同封してください。  
返信用封筒（本人の住所・氏名を明記のうえ、簡易書留郵便404円分の切手を貼った長形3号「12cm×23.5cm」封筒）を同封してください。
2. 窓口で請求及び提供を受ける場合は、受験票を提示してください。この場合404円分の切手は不要となります。

埼玉大学記入欄		
確 認	1. 受験票 2. 身分証明書 ( )	受付番号 -----
受理日	令和 年 月 日	



令和 年 月 日

埼玉大学大学院理工学研究科長 殿

【令和 3 年 4 月入学】 【令和 2 年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程]

入学試験出願資格個別審査申請書

私は、出願資格の個別審査を受けたいので、申請いたします。

1.令和 3 年 4 月入学 2.令和 2 年秋期入学 (出願する方に○を付ける)

出願資格	<p style="text-align: center;">※学生募集要項に記載の出願資格の何号で 出願するか記入してください。</p>
志望専攻 ・コース	<p style="text-align: right;">専攻 コース</p>
フリガナ 氏名	<p style="text-align: right;">印</p>
フリガナ 現住所	<p>〒</p> <p style="text-align: right;">Tel ( ) -</p>
フリガナ 連絡先	<p>〒</p> <p style="text-align: right;">Tel ( ) -</p>
添付書類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最終学校の「成績証明書」</li> <li>2. 最終学校の「卒業・修了（見込）証明書」</li> <li>3. 「入学希望理由書」</li> <li>4. 「経歴書」</li> </ol>

令和 年 月 日

【令和 3 年 4 月入学】 【令和 2 年秋期入学】  
 埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程]  
 経 歴 書

氏 名 印  
 性 別 男・女  
 生年月日 年 月 日生

○最終学歴

入学 年 月 卒業・修了（見込） 年 月	学校名
----------------------------	-----

○上記以外の学修歴、職歴、実務経験歴及び活動歴等がある場合は、年代順に、その内容についても詳しく記入して下さい。

期 間 （年 月～年 月）	内 容

令和 年 月 日

【令和 3 年 4 月入学】 【令和 2 年秋期入学】  
埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程]  
入 学 希 望 理 由 書

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程] \_\_\_\_\_ 専攻

\_\_\_\_\_ コースに別紙の理由により入学を希望します。

